



「学ぶための“まなび方”」の様子です！

学びの基本「読み・書き」を、実技も交えながら体験する「学ぶための“まなび方”」が、10月26日（土）の「新聞の楽しい読み方」を皮切りに、全5講座がスタートしました。

「新聞の楽しい読み方」では、(株)秋田魁新報印刷の穴戸豊和代表取締役社長が新聞社の記事の特徴や新聞記事の作り方についてわかりやすく説明されました。

「初めての俳句」では、元県生涯学習センター所長の武藤素魚氏が俳句のルールを説明した上で、「句会」の形式で武藤氏が用意した俳句から心に残った句を受講者が選びました。

「古典文学を読んでみよう」では、秋田大学名誉教授の佐々木久春氏が「古典はとにかく読んでいくもの。難しく考えずに読み込んでいくことが大切。」と説明され、『万葉集』や『伊曽保物語（イソップ物語）』を楽しく解説していきました。

「文章入門」では、作家の柴山芳隆氏が、原稿用紙の正しい使い方や間違った表現方法などを丁寧に説明し、「空」というテーマで受講者に文章を作るように課題を出しました。

「書を学び始めるには」では、秋田大学特別教授の長沼雅彦氏が、書の歴史をひもときながら、受講者の書写について、実際にアドバイスをしていました。

どの講座も体験学習が入っているため、受講者もいつもの講座とはちがった雰囲気の中で講座に臨んでいました。

特に俳句については、自分の作品が評されることに対する緊張感や、他人の俳句を評するプレッシャーがうかがわれました。

また、書では受講者同士で作品を見せ合ったり、筆の使い方を教え合ったりと、和やかな雰囲気が印象的でした。

学ぶための“まなび方”は12月21日（土）まで開催しています（各講座3回シリーズです）。



新聞社別に記事の特徴について説明する穴戸氏



文章の基本について説明する柴山氏



受講者の書写についてアドバイスをする長沼氏

連携講座「新鮮！アーカイブズ」の様子です！

秋田県公文書館との連携講座「新鮮！アーカイブズ」が、10月17日（木）より全4回シリーズで開催されました。秋田県公文書館所蔵の日記や絵図をもとに、当時の歴史をひもとく講座に、のべ156人が参加しました。

秋田県公文書館には秋田藩政に関する資料を中心に、およそ6万点の古文書を所蔵しており、また明治以降に作成された秋田県の公文書も整理されています。

その中から「秋田県庁文書に見る近代国家形成の過程」「公文書館所蔵の近世絵図」「公文書館所蔵文化財をみる」「秋田藩家老の日記にみる元禄期と幕末期の秋田の諸相」の各テーマで、秋田県公文書館の職員等が講師となり、古文書の解読方法や絵図の内容について、わかりやすく説明されました。

秋田藩の家老が記した文書である『岡本元朝日記』には富士山の宝永火山噴火の様子が、また『宇都宮孟綱日記』ではペリーの来航の様子が書かれているなど、意外な事実が受講者の驚きを誘っていました。

受講者からは「実際の記録を使ってわかりやすく解説していただき、公文書館で所蔵されている文書の活用について関心を持つことができました」「日記、絵図。その当時の暮らしぶりが記録されていることを知ることができました」といった感想が寄せられました。



近代国家の形成について説明する畑田氏



久保田城を描いた絵図

「あい LOVE あきた」のお知らせです！

12月8日（日）に開催予定の「あい LOVE あきた」は、株式会社オレンジヘッドの今野仁代表取締役社長を講師に、「キャラクター制作で秋田を活性化～ゆるキャラからご当地ヒーローまで～」というテーマでお届けします。

受講料は無料です。詳しくは県生涯学習センター（☎018-865-1171）まで！

今 野 仁（こんの ひとし）氏プロフィール



- 1964年 秋田市生まれ
- 1996年 秋田大学大学院卒
- 20年間の公立中学校教員生活ののち、退職して独立
- 2008年 創作活動のための個人事務所「orangehead」開設
- 2010年 株式会社メディア・スタッフ所属タレントとしての活動を開始
- 2011年 「株式会社オレンジヘッド」創業
- ※ 手がけたキャラクター・・・ビッキー（秋田ノーザンハピネッツマスコット）
- ちびっこなまはげがおたくん
- ガヤルダーハチ ほか多数

【オレンジヘッド公式WEBサイト】より